

【優秀賞】

北方領土について

北斗市立大野中学校

2年 小林 朝仁

日本には固有の領土として、北方領土があります。そんな北方領土について僕が考えたこと、学習したことなどを発表します。

最初に北方領土について学習したことを発表します。僕が北方領土について学習したことは2つあり、1つ目は北方領土問題について、2つ目は北方領土問題の歴史です。北方領土問題について学んだことは、北方領土にはロシアの不法占拠という問題があることを学びました。北方領土問題の歴史について学んだことは、島民は占領された後にどのように過ごしていたか、島民が島から追放されたあとにどこでどのように過ごしていたかを学びました。北方領土問題とその歴史は「ジョバンニの島」から学びました。

次はジョバンニの島を見て考えたことです。僕がジョバンニの島を見て考えたことは、ロシアの人々と島民達は仲良くやれていたのに島民を追放する必要があったのかと考えました。どうしてそのように考えたのかというと映画ではロシアの人々と島民達がいっしょに鬼ごっこをしていたり、お互いの国の民謡を歌っていたりと、仲良く過ごしていたので島民達を北方領土から追放する必要はなかったのではないかと考えたからです。

次に北方領土の今についてです。北方領土では、墓参・自由訪問やビザなし交流が行われています。墓参は1964年から実施されていて、現在では四島すべてで墓参を実施している。また1999年からは元島民とその家族が故郷を訪れる北方四島への自由訪問が行われている。ビザなし交流は1991年に日ロ両国間で定められた、日本国民と北方領土在住のロシア人との間の旅券・査証なしによる相互訪問の枠組みによる交流で、1992年から訪問事業と受入事業が行われている。

最後に北方領土について考えたことです。僕が北方領土について考えたことは、今後日本に北方領土が返還される可能性はあることです。なぜこのように考えたかというと、北方領土返還要求運動を日本は行って、問題解決にはこの運動を粘り強くやっていければ、いつか問題は解決して、北方領土はロシアから返還されるのではないかと思ったからです。

北方領土はいままで一度も外国の領土となったことのない日本固有の領土であり、ロシアが続けている不法占拠は良いことではありません。だから日本は北方領土返還要求運動を続けているのだと僕は思います。いつかこの問題が解決して、北方領土が日本に返還される日を目指して僕も少しだけでもいいから貢献したいなと思いました。